

グリーンプランおおた

みどり あふれる 未来CITY おおた



平成23年3月



1

改定にあたって

緑の基本計画とは

緑地の適正な保全や都市公園・緑地の整備、緑化の推進など、みどりのまちづくり全般の方策を示す計画です。

「みどり」とは

樹木・樹林、草地、草花などの植物だけではなく、水辺、海辺、公園、広場、街路樹、住宅地の庭先、さまざまな生き物、歴史・文化を醸し出す資源など、都市の環境や暮らし、文化などを支える幅広いものです。

計画の目標年次

目標年次：2030年度(20年後)

短期目標	中期目標	長期目標
5年後	10年後	20年後

みどりの現況と課題

- 緑被率は区全体で20.47%で、過去35年間緑の増減はほぼ横ばい
- 羽田空港を除くと、この10年で緑は減少傾向
- 台地部での緑の減少が顕著(10%以上の減少が6町目ある)



- 緑の多さに関する区民の満足度は54%程度
- 公園整備、みどり豊かな散策路整備を望む声が多い

改定の視点

- まちづくりの方向性からの視点
- 社会状況や区民意識の変化からの視点
- 実績評価からの視点

みどりのまちづくりの課題

- 新たな視点によるみどりのまちづくり
- みどりのパートナーシップの強化
- 緑の減少への対応
- 自然環境の保全
- さらなる水と緑のネットワークづくり
- みどりの地域ブランドと生活環境の整備
- 持続可能なみどりのまちづくり

2

基本方針

基本理念

多様なみどりが広がる
世界に向けた
「おもてなしのまち」

ここら豊かに住み続けられる
「みどりあふれるまち」



「みどりあふれる未来CITYおおた」のイメージ

計画のイメージ



木(地域力)が、水(区民・事業者・行政のそれぞれの力、連携・協働)を吸い上げ、実(将来像の要素)をつけ、元気に育っています。

全体目標

緑の多さの満足度

現在 **54.4%** → 20年後